

目次

一 市民の戦争体験

第一部 武蔵野の空襲とその記憶

一 戦時中、戦後の思い出

橋本 又治 1頁

二 中島飛行機武蔵工場での空襲体験

古内 竹二郎 4頁

三 中島飛行機・武蔵製作所での戦争体験記

志賀 一将 7頁

四 中島飛行機武蔵製作所での思い出

岩崎 兼男 9頁

五 戦時中の思い出

白井 具子 15頁

六 学徒動員の思い出

松木 みよ子

白川 節子

宇田川 文子

竹内 静江

野口 マリ子

小山 文江

17頁

七 戦時中の武蔵野市

真田 具子 21頁

八 慰問袋と闇米

渡邊 とし子 24頁

九 中島飛行機武蔵野と給友会

清水 正之 31頁

十 戦中・戦後の食糧難

安部 菊圃 38頁

十一 戦争とともに歩んだ都立五商一期生の思い出

田村 禮二 41頁

第二部 市民の心に残る戦争体験

- 十二 戦中・戦後の思い出
生方 ゆき子 43頁
- 十三 技術部兵として
大野田 武 46頁
- 十四 私の戦争体験談
後藤 シツヨ 48頁
- 十五 陸軍特別幹部候補生を志願して
邊見 憲二 50頁
- 十六 父から聞いたこと
芝 綾子 53頁
- 十七 アメリカB29の爆弾焼夷弾が
私の頭に落ちた日 〈孫たちへの証言〉
清水 正也 55頁
- 十八 黒板は木の枝に
竹山 悠紀子 57頁
- 十九 戦争のない平和な世の中へ
佐々木由里子 60頁
- 二十 あの時私は十歳だった
岡 君代 63頁
- 二十一 原爆の落ちた日
三浦 澄 64頁
- 二十二 孫たちに伝えたい私の戦争体験
〈台湾からの引き揚げ〉
清本 和子 66頁
- 二十三 私の子ども時代、日本はずーっと
戦争をしていた
石渡 俊子 68頁
- 二十四 大連で迎えた終戦
棚橋 武雄 74頁
- 二十五 大連、青島での出来事について
内山 満榮 79頁

二十六 軍隊での経験

斉藤 與太郎

83頁

三 市民から寄せられた

戦中・戦後の武蔵野の資料

100頁

二十七 満州からシベリアへ

青春時代の戦争体験

大寺 正光

86頁

四 年表・工場配置図

104頁

二十八 預言者の受難

フェニックス 広島

梅岡 功

91頁

五 実行委員編集後記

107頁

二十九 愛する人を失わないために

柴田 フミノ

93頁

編集にあたって

・標記については、当時の呼称に従いました。

二 平和を未来へ―青少年平和交流派遣団―

武蔵野市青少年平和交流派遣団の概要

96頁

青少年平和交流派遣団に参加して

派遣団員 塩澤 理紗

97頁

高林 彩香

98頁

八木 詩織

99頁

・事実の確認ができない部分については、体験者の記述を尊重しました。

・原稿の編集に際しては、内容や主旨をそこなわれないように配慮しながら、読む方にわかりやすいよう補足・再編集し、一部注釈をつけました。